チア・にっぽん　CHEA JAPAN

NEWSLETTER　169号 2018年 4月

〒189 0013 東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807　FAX 03-6862-8648
http://www.cheajapan.com

**あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。
神があなたがたのことを心配してくださるからです。
…神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみの
あとで完全にし、堅く立たせ、強くし、
不動の者としてくださいます。**（第一ペテロ５：7、10）

ハレルヤ！　淡い新緑の季節となりましたね。皆さん、その後、ご活躍のことと思います。チア・コンベンションのパンフレットが仕上がりましたのでお届けします。今年のコンベンションの準備も進んでいます。皆さんのご参加とお祈り、どうぞ、よろしくお願いします。

チア・にっぽん代表　稲葉　寛夫

この春は、深刻と思われるご相談を６、７件いただき、一緒に考えさせていただく機会が与えられました。学校・教育委員会等への対応といったホームスクーリングに関連するご相談とは違う事案です。チアのメンバー以外の皆さんからも、重いご相談がありました。それぞれ深刻さと緊急性もあり、時間やエネルギーを費やしますが、約３ケ月、ほかの仕事をおいて全力を尽くす日が続きました。

具体的には書けないですが、それぞれのお話を伺いながら、共通してますます思うことがありました。親が子どもたち一人ひとりと、日ごろ心を通わせ、何か課題があれば、あきらめずに直面していくことの大事さです。ティーンとなれば尚更です。また、緊急性や深刻さを見逃し、思いがけない事件や残念な人間関係に巻き込まれてしまうことがありました。日ごろの一つ一つの事象を軽く見ず、またあきらめて放置したり、感情的になったり絶望したりせず、的確な指導や協力を仰ぎながら子どもたちの心に丁寧に対応していただければと思ったりもしました。それは特別な親子に起

こることではなく、すべての親子に起こり得ることであると思います。ネットやラインからの様々な情報や人間関係ができてくる今の時代のワナは侮れません。特に事件化しないとしても、親子関係にひびが入ったり、また、私たちの願う強い３つの目的、①魂の救い、②キリストの弟子の心を与える、③伝道・世界宣教からそれていくことは、どこの家庭でも起こり得ると思います。

一方、お話を持ってこられた親御さんたちの文字通り真摯な悔い改めと、絆を回復するための新しいアクションの実践に深く感動もしました。深い痛みを体験し、神様に向かって文字通りへりくだり、悔い改め続ける、厳かな姿に心打たれています。

神様は、「すべてに感謝しなさい」、それぞれに最高の計画を持っておられるから、失敗と思えることも含め、「すべては益と変えられる」と約束くださっています。途中、自信を失われてしまう親御さんもおられました。でも神様は、親御さんに第一義的な責任と使命を与えておられることと、親御さん以上に愛情をもって接し、３つの強い目的を目指して歩ませられる存在はありません。悔い改めと新しい姿勢をもって子どもたちに接する親御さんは、最大の助けを与えることができ、また、そのことを神様は喜んでおられます。そうした親御さん方が、課題に直面し、取税人の祈りをもって神様の前にへりくだり、改善を目指す歩みに、私自身も襟を正される思いです。願い通り進まなかったケースもありますが、そのプロセスで親御さんの成長の歩みを見て、大変励まされもしました。「親の責任と使命」に基づき、一歩一歩、強い目的からそれずに歩んでいけるように、神様に祈り求めている次第です。

合格・伝道・新しい進路の便り

春ということで、様々な進路の知らせが届いています。国公立大の面接試験で「ホームスクーリング」やクリスチャンであることを大胆に打ち出し、AO 試験で合格を勝ち取ったホームスクーラー A さんからのうれしい知らせも届きました。２浪して、第一志望大学合格の栄誉を手にした B 君の知らせも届きました。また、その後、長期伝道に出かけているホームスクーラーたちを受け入れている南アジア、タイ、韓国の国々の皆さんからも、子どもたちがしっかり過ごしていて、チームのみんなにも良い影響を与えていることを伺い、励まされています。

ホームスクーラーの皆さんと教育委員会・学校との話し合いも、チア HP 等に基づいてしっかり準備して臨んでくださり、順調に進んでいて感謝です。数件、教育委員会が否定的に接してこられた話し合いがあり、相談が届きました。

昨年施行され、全国各地で用いられている「教育機会確保法」が威力を発揮していますが、教育委員会、学校側の認識はまだ不十分なところもある状況です。

喜びの春・収穫の時へ！
（写真コンテスト授賞式にて
／チア・コンベンション）

ある教育委員会の方は、「その法律は法案段階であり、まだ施行されていません」と宣言されたとのことです。ここまでの事実誤認、また、それに基づく不当な圧力・暴言は、かなり特殊な事例と思います。でも、その教育委員会の方々にも、ホームスクーラーの皆さんが法律の詳細を特集した「チア・にっぽんマガジン」43 号～ 45 号を祈りと愛情をもって贈呈され、感謝でした。

それから３週間後、その教育委員会の地区の学校長は一転してソフトな対応となり、法の条文に明記されている通り、「尊重します」との返信があったとのことです。

「本日、校長・教頭と面談があり、ご指導いただいた通り、付箋を貼った HS 関連のマガジン、コンベンション等のパンフレット、書籍をスーツケースに詰め込んで持って行きました。あらかじめ教育委員会から詳細を聞いておられたとのことです。校長は、『先日教育委員会と話し合いをしてくださったので、今日はお母さまのご意向を私たちも直接聞きたいと思いまして…』と言われ、寛容な対応で言われました。そこで目的や、進学先、社会性のことなど一通り手短に 2 分ほどお話ししました。

校長は『OK と言う立場にはないけれど、長い教員生活の中で様々な体験をし、学校だけがベストじゃないことは認めます』と言われました。

また、聖書や信仰のことも伝えると、『信仰の問題であればこれ以上何も言えない、その自由を尊重したいと思います。どうか頑張ってください。もし、学校ってどんなところか覗きたいという気持ちがわいてきましたら、いつでも受け入れますので』。教頭も『何が大切かというと、どんな方法であれ最終的に子どもたちが幸せになることが一番大切なことですからね』と言ってくださいました。

その他質問のやり取りもスムーズに進み、神様が語ってくださいと祈って臨んだので、本当に守られました。学校や教育委員会の対応の仕方を丁寧に教えてくださり、全面的にサポートしながら励ましてくださったチアの皆様に感謝いたします。相談に乗ってくださり、本当にありがとうございました」

とのことでした。私たちは共に喜び、神様を讃えました。

ある中学の校長先生は、マガジンの隅々まで読んでくださり、対応くださり、それも感謝でした。これまでの聖書、憲法、国際法、条約等に基づく根拠に加え、国内法も整備され、一歩一歩、前進できていることが、とても感謝に思います。

親を敬う時の恵み３つ

①小樽の義父母からの励まし

この冬、小樽の義父母を訪ねました。義母は介護施設で暮らしています。数年前、見舞った時に、キリストの福音を伝えると「私、抵抗ないよ」と言ってくれました。「神様は一人ひとりを愛し、お母さんにも特別な計画を持っている。でも、人間は全員罪人で、自己中心で、神様に無関心。そして、罪を負って、神と断絶した歩みをし、その罪ゆえに、人生は本来の使命を達成できずに迷走するし、死後、その罪の責任ゆえに、地獄に行く。どんな努力をしても、罪の解決はできない。でも神様は、すべての人が罪赦され、神との関係を回復し、本来の使命を達し、天国に行くことを願っている。そして、人はただイエスを救い主として信じることで赦され、新しい永遠の命をいただく道が用意されているよ。お母さん、このプレゼントを受け取らない？」「私、抵抗ないよ」「そう。ではイエス様を救い主として信じる祈りをする？」「はい」と言って、一緒に祈ってくれました。

今回、義父が「寛夫君、母さんのところに行って、また祈ってくれたらうれしいな」と話してくれ、一緒に伺いました。義母は一生懸命、私に話し続け、僕もアップデートをし、祈り合いました。主を讃えました。

義父はチア・マガジン 43 号～ 45 号を丁寧に読んでくださったそうです。「寛夫君、大臣や議員たちとよくあれだけ的確に話すもんだな。緊張しないのか？」「緊張しないですよ。だって、ホームスクーリングを日米で 20 年やってきたし、ホームスクーリング先進国のアメリカに 30 年余り住んで、いわば日本の 20 年先の姿を先取りして体験してきたから、生活実感をもって話せる。またアメリカでの 40 年あまりの上下院の動きや各州

の裁判でのやり取りをしてきた弁護士たちと一緒にいるので、自分にも法的情報が与えられていて、文科省や衆参議員よりも、圧倒的な情報格差があるから、どの点を話したらいいとか、よくわかるというか…、応援してあげようという気持ちもあるし、喜びだし。全然緊張しないですよ」「なるほどね。大したもんだ」「神様に感謝ということですね」

親を敬う時の恵み３つ

②弘前のスキー場でリフト 40 回 社長賞をもらう！

小樽に行く２週間前に、雪の中でジョセフと野球をし、打球を追いかけていたら、ふくらはぎに「ビシッ」とムチ打たれたようなショックが走りました。医師からは、「肉離れで全治３週間」と言われ、松葉杖となりました。

「父母を敬いなさい」、また上記の通り、親子の時間をしっかり持つように…と示されていたので、予定通り、小樽・弘前行きを実施することにしました。ジョセフはこの５年、スキーが大好きで、今年も滑りたがっていて、連れて行ってあげたいと思いました。

肉離れの方は、松葉杖が取れて３日経ち、スキーブーツに入れるとちょっと痛みはありましたが、ゲレンデに出ることができました。初日はリハビリを兼ねつつ、リフト３回だけ、２日目は５回乗れました。

その後、弘前の実家に移動して、父母を見舞い、ジョセフが大好きな地元の小さなスキー場（ロマントピアスキー場）に向かいました。

スタッフの皆さんは、毎年やってきてレンタルをする私たちのことを覚えていてくれ、「ジョセフ君、背、高くなったね」「今年もお世話になります。昨日はリフトに 20 本、乗れました。今日は今のところ、30 本目標です。ジョセフは、できれば 40 本目標と言ってます」と答えました。

午後３時過ぎで 35 本乗れて報告。最後、ジョセフが休憩所に戻ってくると、スタッフの方が聞きました。「ジョセフ君、何本乗ったの？ 40 本滑ったの？」「40 本できた」「すごーい！ 社長、40 本だって」「すごい！ これはギネスだ。これはうちのスキー場の新記録、ギネスだよ。すごい！ こっちに来て！」「社長がね、ジョセフ君にあげたいって、家に戻ってリンゴを持ってきたのよ」ということで、社長さんが社員の方を集めてくださり、表彰式をやってくれました。

「これ、我が家のリンゴ。ジョセフ君に！」「ありがとうございます。弘前市の相馬地区のリンゴは何度も総理大臣賞とか、農水大臣賞を取ってますね。最高のリンゴ､ありがとうございます。ジョセフが皆さんにお世話になって５年目ですが、どこのスキー場よりも、皆さんのロマントピアスキー場が大好きなのです」「（スタッフの方）偉い！」「僕たちクリスチャンで、皆さんの祝福を祈ります」。ジョセフは、にこにこでした。神様の応援を感じました。

「うれしいなー。でも、ギネスって本当なのかな…」と思い、家に帰って妹（小学校の教員）に聞くと「本当だと思うよ。だって、地元の子、毎日のように行けるから、１－２時間滑ったら、家に帰るもの。一日ずっといて、そこまで滑ってる子いないよ。選手たちは、大規模スキー場に行っ

社長賞の青森リンゴ 10 個

てるだろうし」とのこと。社長さん以下、本当に喜んでくださったのだなーと思いました。また、そのような親子の時間を神様が与えてくださり、本当に感謝に思いました。「父母を敬いなさい」「よく教え込みなさい」、そのような時を持てて良かったし、神様の祝福だなーと思いました。ジョセフはうれしくて、もらったリンゴをまずおじいちゃんや、みーおばちゃんへ、そして東京まで持って行って、チア・スタッフ全員に配っていました。深い恵みでした。

親を敬う時の恵み３つ

③ LA の庭先で「レモン完売！（３日連続）」

親の声を尊重し、もう一つの恵みを体験しました。義父は、今回のコンベンションでも開催予定の「自主企画」の発案者です。孫のジョセフは、自主企画第１回目の白馬セミナー 2016 で「ジョセフクッキー」、昨年のコンベンションや白馬で「子どもカフェ」等、３度チャレンジして、ビジネスや接客、献金の喜びを体験しました。

アメリカに戻った時に、さらなる挑戦の志しが与えられました。我が家の庭には、樹齢６－７年のレモンの木があり、500 個ぐらい大きな実を結びます。完熟で無農薬、オーガニックで、おいしく、レモネードにしたり、近所に配っても評判です。でも、食べきれず、たわわな実で枝がしなっています。

そのレモンを家の庭先で売りたいというのが、ジョセフの計画でした。コンベンション、白馬等での自主企画で、ジョセフはとても励まされ、喜び体験をし、その延長でロサンゼルスでの出店を思ったのでした。

立て看板等、自作で準備しました。無農薬で、とてもおいしいのですが、８個で１ドルとの破格の値段をつけました。小遣い稼ぎというよりは、教育目的であることをアピールするためです。１日 24 個、３日間連続で完売でした。

アメリカでも子どもたちの店は、最近は珍しくなり、多くの皆さんが感動してくれました。通りすがりの車の中からお店を見つけ、１キロほどのブロックを１周して戻ってきてくれた方が３人もいました。「感動した！」ということで。ある方は「君のことを誇りに思うよ。その笑顔をキープ

「自主企画」で鍛えられ、LA でも、「我が家のレモン」販売に挑戦！

するんだよ。途中であきらめず、継続するんだよ！」。ある方は３ドルくれ、ある方は10ドルくれ、「おつりはいらないよ！」と励ましてくれました。「神様の祝福がありますように！」と言ったら、「私たちもクリスチャンなんだよ」と証ししてくれる人や、「僕はロック歌手なんだ、クリスチャンの。CD あげるよ」と車から持ってきてくれました。「君たち、いつもネコにひもつけて散歩してるでしょう？　我が家にもネコと犬がいるの」と話してくれたり、「僕は、郵便配達で君たちの家に来てたよ。今、違うエリア担当になったけど」「（私とジョセフ）はい、知ってます。お世話になってます」「今日は子どもたちに言われて、買いに来たよ」…と、多くの人が心を開き、近所の皆さんとの交わりの場となり、ささやかながら伝道の場ともなりました。１日だけと思っていましたが、ジョセフは３日連続で行い、どの日も 24 個のレモンに４人のお客さんが与えられ、約 30 分で完売でした。ジョセフいわく、「ビジネスって楽しいなー。次は何売ろうかなー」とのこと。これも義父の案の「自主企画」に耳を傾けたことがスタート。「父と母を敬いなさい」の恵みの一つでした。

「家庭教育支援法案」をめぐって

今、取り組んでいることは「家庭教育支援法案」です。この法律は、ホームスクーラー等に限定せず、すべての家庭の教育を、国や地方公共団体が支援していくことを法的に位置付ける法律です。「親が第一義的責任者」であることを強調し、親・家庭を助けるという意味では良いですし、罪である「虐待」の防止を促し、貧困家庭の支援等の側面もあります。

しかし、当初、自民党案にあった「各家庭の自主性を尊重しつつ」といった文言が削除されるなど、将来、法整備をした目的を知らない人々が悪用しようと思えば、国家による家庭教育の自由への介入・監視・統制へと暴走しかねない側面もあります。

アメリカでは、最高裁で、各家庭への介入は違憲との判決が出ていますが、日本にはそうした判例はまだありません。

この法案については３年前から HSLDA（ホーム

上野通子　家庭教育支援法案 PT 事務局長

河村建夫　家庭教育支援法案 PT 座長

浮島とも子　衆議院議員
（元文科大臣政務官）

スクーリング法的擁護協会）との相談を重ねてきました。大変危険性を持つ法案という認識で、前回の「教育機会確保法」と同様、最優先で働きかけをすべき法案と、励まされました。

幸い、これまでの文教族の国会議員の皆さんとの信頼関係等も用いられています。法案の座長をされているのが、何度も面談を重ねてくださった河村建夫衆議院議員（元官房長官、文科大臣）。法案の事務局長の上野通子参議院議員（元文科大臣政務官）との初面談も祝福されました。前回も良き交わりをいただいた公明党の浮島とも子衆議院議員（元文科大臣政務官）とは、４月下旬にほかの議員も加わって２回目の検討会を持つスケジュールが決まっています。法案審議が本格化するタイミングを見て、ほかの議員の皆さんや野党側の皆さんとの面談も増えていく予定です。

すでに条文は自民党内で承認されているため、その調整は難しい状況で、今国会の与野党の議席数では、法案が提出されればそのまま通ってしまう状況です。でもまだ与党協議が続いている段階で、前回同様、調整案を提案することはでき、それが説得力あるものであれば、前回同様、動くことは可能な段階です。実際、各議員の皆さんからは、逆に「ぜひチア・にっぽんからの提案を出してください。こんな声が届いていますと言えますので」と励ましてもらっている感謝な状況です。

法案への「附帯決議」等も含め、提案書を準備中です。「教育機会確保法」でも体験していますが、「多様な学習への重要性を鑑み」との文言が３ケ所、盛り込まれたことで、ホームスクーリングの展開に大きな法的支援となっています。

たとえば、当初の自民党案から削除された「各家庭の自主性を尊重しつつ」という文言は、現在、教育基本法にも書かれてある言葉であり、憲法にも基づき、その理念は否定できないのが自然です。その点が条文に復活したり、付帯決議として盛り込まれると、強力な歯止めにもなってくると思います。聖書に沿った法案となっていくように、また良き活動ができるようにお祈りいただければ幸いです。

「ネット依存からの無理なき解放のために」
大人＆OB/OG・ユースセミナー

こうした動きが進む中、今年のコンベンションも近づいてきました。14人の子どもたちをホームスクーリングしたマリリン＆リック・ボイヤー夫妻を主講師に迎え、準備が進んでいます。

リック・ボイヤーさんからは「ネット依存からの無理なき解放のために」というテーマでの講演予定を伺いました。「インターネットやライン仲間依存の悪影響」等、一層考えるべき時代にあることを思い、OB/OGの特別セミナーとも合わせて、リックさんの好著『社会性のワナ』と合わせて開催する予定です（大人でも誰でも参加可能）。

ネットやライン、ゲーム等、全部止めるとか、そうでない家庭を見下げるとかではありません。聖書ではないので、解釈に幅があると思います。それぞれの家庭のルール、判断を尊重しつつですが、すべての家庭は、その悪影響に無防備であってはいけなく、一層、注意を深める必要がある時代と思います。

ジョイス・イノウエさんは、病を押して、チアの子どもたちのニーズに応えんと新たなトピックをもって講演くださいます。

ほかにも多くの講師の皆さんが準備くださっています。どのように子どもたちを聖書にあって育てていくか、しっかり学んでいければと思います（抄録予定はP13～P21を参照ください）。

「思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい」
（第一ペテロ５：６）

並行して、チア・サマーキャンプの準備を進めています。先月号で、昨秋の白馬セミナーのすばらしさを紹介させていただきました。今年は、白馬セミナーを休みにして、コンベンション、サマーキャンプに集中したいと思います。来月号でお知らせしますが、チア・サポートスクール、英会話スクール、そのほか創設19年目に入るチアの新展開に今年は力を入れていく予定です。秋のチア・オリンピックは10月中下旬にスライドして開催予定です。

そうしたプランもありますので、今年のチア・コンベンションへのご参加をぜひお祈りください。

いろいろと山あり、谷ありです。でも、今示されることは、以下の聖書の箇所です。

「あなたがたは、神の力強い御手の下にへりくだりなさい。神が、ちょうど良い時に、あなたがたを高くしてくださるためです。あなたがたの思い煩いを、いっさい神にゆだねなさい。神があなたがたのことを心配してくださるからです。身を慎み、目をさましていなさい。あなたがたの敵である悪魔が、ほえたける獅子のように、食い尽くすべきものを捜し求めながら、歩き回っています。堅く信仰に立って、この悪魔に立ち向かいなさい。ご承知のように、世にあるあなたがたの兄弟である人々は同じ苦しみを通って来たのです。あらゆる恵みに満ちた神、すなわち、あなたがたをキリストにあってその永遠の栄光の中に招き入れてくださった神ご自身が、あなたがたをしばらくの苦しみのあとで完全にし、堅く立たせ、強くし、不動の者としてくださいます。どうか、神のご支配が世々限りなくありますように。アーメン」（第一ペテロ５：６－11）

思い煩いを、いっさい神に委ね、歩み続けられればと思います。神の前にへりくだり、しばらくの苦しみのあとで完全にし、堅く立たせていただき、強くされ、不動の者とされて、神の御支配の中を歩めればと思います。

皆さんと共に、子どもたちの魂をキリストに導き、キリストの心を与え、伝道・世界宣教を目指していければと願っています。ますますの祝福を祈っています。

感謝しつつ

稲葉　寛夫

チア・コンベンションにて

チア・コンベンション 2018

大阪：6月1日（金）・2日（土）
大阪府羽衣青少年センター
（大阪府高石市羽衣公園丁）

東京：6月8日（金）・9日（土）
国立オリンピック記念青少年総合センター
（東京都渋谷区代々木神園町3－1）

家族・教育の聖書への回復！どなたでも大歓迎です！

昨年参加 820名！ 講師約35名、約80の基調講演・分科会！

★ 聖書が教える教育の本格派コンベンション ★

主講師：マリリン・ボイヤー / Marilyn Boyer
リック・ボイヤー / Rick Boyer

14人の子どもたちをホームスクーリングしたマリリン・ボイヤーさん初来日！
写真：リックさん（3回めの来日）と子どもたち、孫たちと共に

＊参加費、お申込み用紙等、詳しくは、同封のパンフレットをご確認ください。
お問い合わせは、チア・にっぽん事務局まで→ office@cheajapan.com www.cheajapan.com

主講師：Marilyn Boyer
マリリン・ボイヤー

主講師：Rick　Boyer
リック・ボイヤー

「彼女には本当に励まされます！」これは、マリリンさんに対する多くの母親たちからのコメント。マリリン･ボイヤー夫人は 14 人の子どもたちをホームスクーリングで育て、多くの本を執筆してきた。マリリンの話しは、多くの人々を奮い立たせ、同時に慰めるもので、その内容は、自分の子どもたちを 40 年あまりホームスクーリングしてきた経験に基づいている。

長年前線で戦ってきた彼女は、教育の最も重要な分野は、神を模範とした人格を築き上げることだと確信。その確信に基づき、幼児から高校生までの聖書を基盤とした人格教育プログラム、「キャラクター・コンセプト」を、夫のリックさんと共に作り上げた。www.CharacterConcepts.com

ホームスクーリングに並行して「Learning Parents ミニストリーズ」を主宰。全米の講師としても大きく用いられてきた中、いよいよ初来日。

1980 年から 14 人の子どもをホームスクーリング。一人は白血病で逝去の悲しみを乗り越えた。子どもたちは、弁護士ほかで活躍中。日本でも出版された「社会性のワナ」（チア / ホームスクーリング・ビジョン刊）ほか著書多数。全米､ヨーロッパで大きく用いられる中、５年ぶり、３回目の来日。

子育てという難問に真っ向から立ち向かい、聖書と 40 年以上の子育ての経験に基づいた、実践的で効果的な問題解決方法を提供する。

ダイナミックな語り手の「アンクル・リック」（リックおじさん）として、聖書や歴史を生き生きと語るオーディオブックシリーズも好評を博している。（www.UncleRickAudios.com）その物語は、楽しく、子どもたちの人生を変えるような人格形成の学びに役立っている。

講師：Joyce　Inouye　ジョイス・イノウエ

クリスチャン教育セラピー代表。6 度目の来日。学習障害、特別学習教育の専門家として４０年あまり。３人の子どもを育て、２人の子どもたちの聴覚・視覚等の情報処理の困難等を診断、訓練、克服し、大学卒業、ミニストリーへと羽ばたかせる。カリフォルニア州立大学院 LA 校特別支援教育修士課程卒。アズサ・パシフィック大、フレズノ・パシフィック大、チア・カリフォルニア等で、特別講師。ACSI 加盟クリスチャンスクール 400 校余りをネットする、学習障害サポート機関等も設立。

リック・ボイヤー氏
白馬セミナー 2013 のアンケートより

●リックさんのメッセージで、また原点に戻されたことも、感謝でした。近頃、ホームスクーラーであるがゆえに教会の活動に積極的に加われないことにずっしりと心苦しさを感じていた私にとって、学びの目的は、将来、他者に仕える者として世に子どもたちを送り出すこと、とおっしゃっていただいたことは、大きな慰めに感じられました。やはり、今は、子どもたちを主の目的に従って育てていくことに全力を注ぐべき時であると心から思うことができました。また、メッセージを聞く中で、自分自身の学校生活の失敗体験のみならず、成功（だと、学校の基準の中で思っていた）経験も、みことばに対する自分の目を曇らせているのだと気が付くこともできました。みことばの基準は高く、それを実践し続けるのは不可能に感じ、自己流に流されてしまっていましたが、実践が難しいからといってみことばの基準を下げてはいけない、悔い改め、へりくだりながら、みことばに真摯に向き合っていかなければならない、という思いも与えられました。（A さん）

●どうやってＨＳを継続すればよいか行き詰まりを感じていましたが、リックさんのメッセージで方向性が明確になり、視野が広げられました。私たち夫婦の持っていた多くの疑問、不安は、彼のとてもクリアーな説明と、聖書からの説き明かしにより、取り除かれました。夫婦でここに来たのは正解だったと心から感謝しました。（B さん）

●今回の講演はとても良かったです。特にリックさんの講演はすべて良く、CD でまた聞き返したいと思っています。（C さん）

●ホームスクーリングを始めたばかりの頃のリックさんの話は、重みがあり、その経験からのレッスンは、とても貴重でした。神様が始められたホームスクーリングであり、たとえ完璧な家族でなくとも、この子には親である自分が備えられたのだ、と改めて知ることができました。（D さん）

●期待していた以上に良かったです。リック・ボイヤーさんの講演に全部、参加させていただきました。とてもはっきりしていて、力強いメッセージでした。（E さん）

白馬セミナー 2013 より

特別寄稿

チアリーダーはどこに？

リック・ボイヤー
翻訳：米澤　輝美

最近ある空港で、テレビに映るバスケットボールの試合の最後の瞬間を目にしました。我が家にはテレビがないので、試合を妨げるほどの観客の熱狂的な応援を見たことはあまりありませんでした。特にこの試合は手に汗握る展開で、審判が残り時間を確認し、最終ブザーが鳴ると、観客は半狂乱の状態に陥っていました。それから時間の判断が困難を極めると会場中が騒ぎたちました。ファンは足を踏み鳴らし、チアリーダーはコートの端で跳ねてハンドスプリングをしていました。

その後、私は私の妻マリリンと、人間とはなんと奇妙な生き物なのかと、この出来事を振り返りました。何千時間ものトレーニングを積み、選び抜かれた 5 人ずつの 2 チームが、体育館内で空気入りのボールを投げ、金属の輪から釣り下がっているネットにボールを通す。その全ての様子を何千もの人々が、まるで世界の行方がその磨き上げられた硬い床の上で決まるかのように見入っている。私たちはそのように楽しむことがとても好きなのです。

そして私も楽しむことが好きな一人です。私自身遊びたいですし、仕事が許す限りいつも楽しい時間を過ごしたと思っています。クリスチャン生活にも休息や楽しみの時間があることを誰も否定はしないでしょう。しかし、少しやりすぎたようです。永遠の命、救いの重要性が知れ渡っていない中、プロの選手が崇められる社会に何か間違いがあるのではないでしょうか。

親の代弁者として言いますが、親たちに対しての応援がもっとあっていいと思うのです。母親や父親がしていることは称賛に価することがあると思います。実際、たくさんの称賛があります。結局のところ、輪にボールを投げることと、永遠に生きる小さな魂を整えていくこと、どちらがより重要なことでしょうか。疲れきった若い母親が、3 歳の子どもに本を読むために、一日に何度ともなく彼女がやりたい事を後回しにする時に、ハンドスプリングをして彼女を応援するようなチアリーダーがどこにいるでしょうか？妻と子どもたちに家を与えるために、そんなに楽しみでない仕事に、何時間も長く取り組む父親のために、誰がポンポンを振って応援しているでしょうか？スポーツでも、大変なことに取り組み、犠牲を払うものですが、より重要であるのにも関わらず、感謝されるのが少ないのが親というものではないでしょうか？

そんな親のためのチアリーダーが、どこにいるのでしょうか。揺りかごをゆすり、おむつを替え、請求書の支払いをし、決して完全な休暇を取らない存在に気付いて称賛している人がいるでしょうか？実は、親というものは、あらゆる分野、国、近所においても目立たない英雄なのです。彼らは子どもの必要を満たすために、彼ら自身の事柄を全て毎日脇に置いているのです。少しは称賛されてもいいはずなのです。

今の社会はもはやあまり優しいものではありません。政府は親を、子どもを教育するという面で信頼できる存在と見なしていません。親は教育の働きにはもはや適任でなく、公認のプロが必要とされ、“地域”が子どもたちの必要を満たす必要があると言われている状況があります。アメリカの人々は、たった数世代前は、子どもを育てるのは地域ではないと知っていましたし、国や地域だと言う人がいれば、愚か者と見なされていました。

残念なことですが、現代の教会の多くがこのような考え方に陥っているのです。もし美しくゴスペルを歌えば、立派な説教を語れば、家を売って宣教地に行けば、称賛され、尊敬されるのです。しかし、あなたが今週歌った歌すべてが、人前での讃美歌ではなく、自分の子どもへの童謡と子守り歌であった場合どうでしょう？あなたの説教が 500 人の人々に聞かれるものではなく、一人の 5 歳の子どもに向かってならばどうでしょう？今週 50 回のおむつ替えをしたならばどうでしょう？

その愛の働きが人前での働きに比べて平凡であるように思えるからといって、あなたは霊的に足りなく、あなたの価値が低くなるのでしょうか。

私は、母親が特に過小評価されていると思います。私は父親であり、他の父親たちのことは、どんなに難しいことをしているか理解することができ、尊敬することができます。しかし、母親は目立たずよく分からないのですが確かに一級の英雄なのです。その仕事は終わりがなく、昼夜構わず働きます。家の中の皆が（父親を含む）母親に問題や心配を持ってくるので、自分自身のことを考える時間はめったに作れません。彼女は、掃除婦、コック、食品買い出し係、経理スタッフ、救護員なのです。一筋縄にはいかないようなことも多く、自分自身が何人もいたらと思えるような仕事の多さなのです。ところで、これを私の妻が読んだなら…本当に感謝しています。

親たちに３つの声援です！彼らは、常にすべてを与える人です。そしてその働きは２人が 100 万人になるよりもっと世界にとって重要な働きなのです。次回、小さいお子さんを連れた若い母親や若い夫婦に出会った時、見て通り過ぎないようにしてください。素晴らしい家族が与えられていることを褒め、その素晴らしき子どもたち（たとえ彼らが現在完璧でなくても）を見ることがいかに励ましかということを伝えてください。毎日、世界中で、親たちは全てを捧げています。誰かが声援を送るべきなのです！

マリリン・ボイヤー抄録

基調講演①「我が家のホームスクーリング物語」

ボイヤー家について知っておられる方もいるかもしれません。夫リックがコンベンションで語るのを聞いたことがあるかもしれませんし、「14 人の子どもたち全員をホームスクーリングで育てているあの家族」として知っておられるかもしれません。しかし、我が家がホームスクーリングを始めた背後の物語について知る人はほとんどいないと思います。結果的にはホームスクーリングを始めたおかげで皆さんと出会う機会が与えられたのですが。

最近のアメリカでは、ホームスクーリングを選択することは珍しいことではありません。多くの人が喜んでしています。しかし、1980 年代初期にそれを選択するということは、確かに珍しいことでした。では、なぜ私たちはホームスクーリングをしたのでしょうか？いったい何が、37 年に及ぶこのクレイジーなホームスクーリングの旅を始めさせたのでしょうか？なぜ、子育て本を書いたり、子どもたちのための人格形成のカリキュラムを作ったりしたのでしょうか？それでは、物語を始めましょう。

基調講演②「子どもたちと楽しむ－子どもたちの心を保ち続けるカギ」

私たちは時々、述語名詞とか、割り算のやり方を教えるといった勉学のことを重視したいという衝動にかられることがあります。そして、ただ子どもたちと一緒にいる時間を楽しむということを忘れてしまいます。この基調講演では、これこそが実は子どもたちの心に残る価値観を教え込み、神に関する事柄を心に築き上げていくカギであることに、マリリン自身がどのように気付いたかを分かち合います。どのように、子どもたちの心に届き、その心を掴むことができるか、また、どうやって次世代に続く満ち足りた家族関係を築き上げることができるのかを分かち合います。

分科会

●「我が家の子どもたちは画一化教育が嫌い：情熱指向学習で子どもたちを自由にする」

聖書は、子ども（若者）を「その（子どもの）」行く道にふさわしく教育せよと命じており、子どもたち（若者たち）の行く道にふさわしくとは言っていません。子どもたちは一人ひとりが神によって違って造られた者であり、それぞれの使命があり、そのための違った才能や興味や、さらに弱さもが、魅力的に混合した存在なのです。その子

どもたちの人生の召しを成就する助け手として、私たち親は、一人ひとりを訓練するためにふさわしい、オーダーメイドのプランを作り上げていく必要があります。この分科会で、あなたの子どもの特徴、ほかの子どもたちと違う点を取り扱う方法を学んでください。子どもが情熱を注げることを追求させ、神がその子どもを造られた通りの人になれるように、「束縛となる期待」から彼らを解放してあげてください。

●「子どもが与えられた？ では人格教育を始めよう！」

教育の最も大切な分野は、価値ある人格教育です。そうでなければ、私たちは単により能力を向上させるだけの訓練をしていることになります。私たちは時折、めそめそしたり、言い争ったり、逆らったり、悪口を言うといった厄介な特質が、態度の問題というよりはむしろ、人格欠如の問題であるということに気づかずにいます。（良い）人格は成功した人生への扉を開くカギです。賢明な人々が、雇用者、伴侶、友人の全体像を評価する時に最初に観察するのがその人の人格である場合が多いでしょう。ですから、人格教育が、子どもたちに与える最も大切な科目だと言えます。14 人の子どもたちをホームスクーリングした母親であるマリリン・ボイヤーが、この最も大切な科目をどのように意識し、教えてきたかを分かち合います。

●「未就学児もホームスクーリングするのか？」

未就学児をいったいどう扱ったらいいのでしょうか？マリリンが最も教えたい年齢層は、活発で、好奇心旺盛で、興奮した、挑戦的なかわいい子どもたち、いわゆる未就学児です。マリリン曰く、この時期こそが、彼らを厄介者扱いするのではなく、私たちの愛を注ぎ、彼らのすべてを受け入れることによって偉大な基礎作りをする時です。

未就学児だからと言って、年上の兄弟たちの勉強中に「忙しくさせられる」小さな邪魔者ではないのです。子どもの人生におけるこの時期は、彼らが生まれつき持っている学習意欲を最大限に用いることによって、その子どもの大きな可能性を引き出す時であり、生涯にわたって大切な働きをするために、神がその子どもに与えた準備期間であり、それを助ける時でもあります。あなたの幼い子どもたちを、家族というチームの価値ある一員として訓練する方法をマリリンが分かち合います。

●「子どもたちのせいで頭がおかしくなりそう！ イライラを勝利に変える」

あなたの子どもたちが立て続けに間違った行動をとるのに、だからといって、心底反抗したようには見えない日というのを体験したことがありますか？子どもならではのイライラさせる行動と本当に反抗して逆らっている態度の違いを、どのように見極めたらいいのでしょうか？苛立ちを問題解決に変えるための、健全で実践的、また実証された手法を紹介します。

●「なぜ高校までホームスクーリングしたことを嬉しく思うのか」

マリリン・ボイヤーは 10 代の子どもを育てる喜びと大変さを、たくさん体験しました。13 人の息子娘たちが、高校過程までのホームスクーリングを終えた今、幼稚園から高校過程までのすべてをなぜホームスクーリングしたのか、なぜ、他の方法を考えなかったのか、ティーンの指導に、どういった点が大切か、体験と学習を通して、教えられたことを分かち合います。

●「自己中心という巨人を倒す」

イエスは、私たちの中で最も偉大な者は、仕える心を持った人であると教えられました。私たちの子どもたちは「自分中心」の文化の中で育っており、その中で、教育、娯楽、広告、ピア・プレッシャー（同世代と同じ規範・行動を求める、同世代からの圧力）らのすべてが混ざって、自己中心の生活を助長しています。家庭における賢い訓練によって、よりよい道を選択するようにと子どもたちに教えることができます。他人を優先することによって、自己中心的な生活を超えた、より優れた生き方を子どもたちにさせるための「仕えるライフスタイル」を家族のために設計する方法を分かち合います。

リック・ボイヤー抄録

基調講演

「子どもたちが自立する前に教えておくべき 20 のこと」

学術的な学びは大切なことです。しかしそれが人生に成功する鍵とは限りません。子どもたちが成長し自立する時、彼らがこれからの時間、そして永遠に向かっての歩みを確かなものとするライフレッスンを受けたという状態で送り出すことを望むことでしょう。この分科会では、一緒にいる限られた時間の中で、子どもたちがどうやってこれから人生に起こる問題を通り抜けることができるようにするかをお話ししたいと思います。

分科会

●「ネット・ライン・ゲーム依存からの解放 －争わずにメディアタイムを減らすには」

この何十年間で、親たちはテレビを見すぎることの害について知ってきたことでしょう。そしてさらにインターネットが入り、その危険性はさらに上昇しました。どのように、ネット・ライン・ゲーム依存から、現実の冒険的な生活に、あなたやあなたの家族の軸を変えることができるでしょうか？ここに力強い聖書的な解決策と、それを適用するたくさんの実用的な方法があります。

●「愚痴、反抗、叫び、不平－言葉を制御するために」

家庭の中で、言葉の毒矢が降り注いであなたをイライラさせていないでしょうか？“子どもたちよ、ただ静かにして！”そう叫びたくなったことはありませんか？もしそうなら、あなただけじゃありません。しかしこの問題は言葉以上に深い問題です。本当の問題は子どもたちの心にあるのです。そしてそこに解決もあるのです。ぜひ来て学んでください。

●「家族の問題を解決するための最も重要な鍵」

家族関係の中で、依存する愛や、よくない関係性など、有害な草が生える場合があります。それは見分けにくく、根絶するのが難しいものです。しかし、聖書は根本からこの危険な侵入者を根絶する確かな方法を与えてくれます。そうです。それにより調和を家庭で保つことができるのです！

●「社会性のワナー真の社会性を養うために」

ホームスクーラーたちは社会性の発達が遅れるのでは…というこの世の通念に、多くのホームスクーラーたちが不安を覚えることがあります。リック氏は聖書のことばや教育学的調査、何千、何万というホームスクーリング家族の経験から、この逆が真実であることをお伝えします。実社会に向けて子どもたちを準備するために、家庭においても、教会においても、コミュニティにおいても、子どもたちは実社会で、実践的に生きていく必要があります。年齢でクラス分けされるような学校社会には置かない下さい。この分科会では、「社会性はどうですか」という、ホームスクーラーたちが常に受けるチャレンジに、確信と真実をもってどのようにして対応していくか、お伝えします。

●「男の子が男になるために」

学校で「学習障害がある」というレッテルを張られる 80%の児童は男の子です。ですから、賢い親は、男の子が健全に育つためには、学校に閉じ込めることや、学校の退屈さや統制は避けるべきことであると理解しています。神が男の子の中に組み込まれた活気を理解し、それに協力するためのカギは、少年時代というものが、将来、家族を守る者、一家の大黒柱、リーダーとしての役割をするための準備期間であること、それは自然なこととして、また聖書的なこととして男性の肩にかかることだということを認識することにあります。

●「父親は何をするのか？」

ホームスクーリングをする家族の父親の役割については多くの誤解があります。「スクール時間」に家にいなければ、ホームスクーリングに関わっているとはいえないと思っている人もいれば、母

親がもっと子どもたちと時間を過ごせるように、家事を分担することが父親としての役割だと思っている人もいます。しかし、聖書は、神の人格を目指す家庭において父親には７つの働きがあるとし、それぞれの働きは、ホームスクーリングにおいて非常に実践的、かつ力強く適用できます。「父親は何をするのか？」という質問に対する回答を、リックが知恵とユーモアで提供します。

ジョイス・イノウエ抄録

基調講演

「子どもたちそれぞれのニーズに応えるために」

あなたが何人かをホームスクーリングしているとしても、たった一人だとしても、一番合った学び方を見つけ、教えていくことは、子どもたちの学びを楽しくさせ、達成感と成功感を与えます。どうすれば親はすぐそれぞれに適した学び方を発見することができるでしょうか。どうやってホームスクールの教材を用いつつ学び方を教えることができるでしょうか？ホームスクーリングという環境で、それぞれの必要にどうやって応えていけるでしょうか。

分科会

「子どもたちの賜物、長所と短所認識への一般テストの誤り＆勧めたい親の観察方法」

子どもたちの能力を正しく知るために、ぜひこのセミナーに来てください。長年にわたり、一般テストには多くの間違いと不正確さがあることを体験してきました。なぜ一般テストと言われるものが間違うのか、お話ししたいと思います。多くの時間やお金を使うことなく、学習障害に正しく気付くために、子どもに対しての観察方法を親の皆様に訓練します。

「子どもたちを祝福する方法」

過去５年間、チアの皆さんに言葉の力について分かち合ってきました。聖書には、人の口から出る言葉は、生かすものでもあり、殺すものでもあるということが書かれています。多くの家族が“子どもたちを祝福する祈り”を行い、家族が変えられた劇的な変化を証しています。もしあなたがあなたの心を子どもたちに向け直すならば、子どもたちの心もあなたに戻ってくる（マラキ４：6）。もしあなたがあなたの言葉を変えるならば、彼らは時にかない、恵みで満ち、あなたの徳を高めるような存在になるのです。子どもたちを傷つけるのではなく、祝福することを選びに、ぜひこのセミナーに来てください。

「子どもたちへの祝福に推進力を与えるために」

私たちは言葉の力を知り、どのようにして子どもを祝福するか学んできました。しかし私たちが忙しい時、疲れ果てている時、怒りがこみあげてくるような状況の時はどうでしょうか。一日がとてつもなく忙しく、短く、そして子どもがたくさんいる状況の中で、どのように子どもたちを祝福し続けることができるでしょうか。これが可能であり、なぜこれが他のどんなレッスンよりも重要であるかを分かち合います。

「子どもたちが学習障害と思った時の十の戒め」

このセミナーで、あなたの子どもたちへの見方が変えられるでしょう。命を与え、人生を変えるようなものとなるでしょう。あなたがどのように子どもたちを見るかは、子どもたちとの関係や子どもたちの自尊心に大いに影響を及ぼします。

「ChildD の質疑応答タイム」

学習、ふるまい、障害、独特な問題、あらゆる分野での質問を持ってぜひ集まってください。その全ての時間を使って質問に答えていきます。質問箱を事前に設置する予定ですのでご利用ください。

分科会　各講師　抄録

■「GrapeSEED ＆ホームスクールならなれます、バイリンガル！」　伊澤　聡一郎＆恵美

７年前、HS 開始と同時に GrapeSEED を始めたわが家。最初の数年は何度も挫折しかけましたが、

試行錯誤しながら継続する中で、16 歳～ 6 歳の 4 人の子どもたちが英語を話し、映画やペーパーバックを英語で楽しむ姿は当たり前のものとなりました。まさかこんな日が来るとは想像すらしませんでしたが、今は、ホームスクールで取り組めば、親が英語を話せなくても子どもはバイリンガルになれると思っています。GrapeSEED の利用方法（完璧主義にならず細く長く）や、一緒に続けてきた多読多聴等、具体的な取り組みをご紹介します。イギリス人講師による CSS の英会話・英作文クラスでも、CSS 生のホームスクールでの GrapeSEED& 英語多読の取り組みの効果が見えてきています。（2017 年の分科会のアップデート版です。）

■「次世代に伝えるべき命と性」 伊藤　こずえ

神様は私たちに命を与え、「生めよ。ふえよ。地を満たせ。創世記 1：28」と創造の初めから祝福してくださっています。大人の私たちは、神様の愛と祝福を受け取っている者として、家庭で、教会で、地域で、この命と性の大切さを次世代にきちんと伝えることができているでしょうか。世の中に氾濫している歪んだ性情報によって、私たちの性に対する意識も知らず知らずの内に歪ませられ、どのように伝えていったらよいのか困惑しているのではないでしょうか。聖書に基づく命の教育、若者たちを取り巻く現状、具体的にどのようにアプローチしていったら良いのか等、助産師としての臨床の現場からも一緒に考えていけたらと思っています。年齢差のある高校生、中学生、小学生三人との日常も少し分かち合えたらと思います。

■「チャーチ＆ホームスクーリング
－必ず聞かれる 20 の質問」
稲葉　寛夫

「チャーチ＆ホームスクーリングって何？」そんな質問への答えから始めて、全体像をつかめるセッション。スタート済みの皆さんには、知人・友人へのプレゼンテーションへの参考に。「社会性は？」「微分､積分ができなくても教えられる？」「聖書が教える教育法は？」「しつけは？」「大学進学、就職は？」「ホームスクーリング・マインドのチャーチスクールって？」「週 2 時間からできるＣ＆Ｈって？」。この 18 年の全国各地でのセミナーで多かったＱ＆Ａをベースに 8 時間コースを 50 分に短縮した、一度は必修のコース！

■「我が家の子育ての歩み」 今井　一穂＆真理子

独身時代からホームスクールに興味を持つ夫・一穂と、ホームスクールに全く関心が無かった妻・真理子。そんな私たちがどのようにホームスクールに導かれたのか、また小学校への対応や、祖父母の反応、現在の様子などを共有させていただきます。

■「場違いな化石」　宇佐神　実

海で堆積した地層から陸上を歩いていた恐竜の化石が発見されることがあります。北海道のむかわ町で発見されたむかわ竜の化石もその一つです。進化論者にとっては不思議なことですが、ノアの大洪水があったことを考えるなら、そのような場所で陸上の生物の化石が発見されるのは当然のことです。子どもに教える時、地層や化石について、聖書の視点から考え始めることの大切さを学びます。

■「創造を信じることはなぜ大切なの？」
宇佐神　実

人が何を信じるかで、その人の世界観が形作られ、人はその世界観に基づいて考えたり行動したりします。聖書通りの創造を信じることは、自分の存在価値を明確にします。そしてなぜ人は悲しみや苦しみを経験するのか、なぜ人は死ななければならないのか、なぜ救いが必要なのかの根拠がはっきりするのです。創造が分からないとこれらの根拠がなくなってしまうのです。子どもたちに創造を伝えるために共に学びましょう。

■「十字架を目指して低きにのぼる 2」
鍵谷　徹也＆陽子

19 歳の長男、7 歳の長女、4 歳の男の子 (里子) を養育中。何よりも、神の国とその義を…と、始めた HS。多くのものを捨ててきたのに、何倍にもなって返ってきた恵みは数知れず。ほぼ聖書の学びと伝道だけで育った長男は、法を通した働きへと導かれ、肉体に弱さのある長女には、励ましと訓練の機会が与えられ、絶望的だった里子くんとの関係作りには、微かな光が。選択肢になかった道が開かれるたび、戸惑い、信仰が試されるけれど、本当のゴールは一つだけ。子どもたちや自分達の足りなさに目を留めず、赦し、完成させて下さる主をこそ仰ぎ見て、砕かれ、感謝しつつ歩む日々をお分かちします。

■「幼児期こそホームスクーリング！」

菅野　律哉＆幸

時には葛藤や試練がありつつも、私たちはホームスクールこそ子どもにとっての最大の祝福であると確信させられています。ホームスクールを始めたきっかけは？何から始める？幼い弟・妹がいても大丈夫？父親の仕事が忙しくても大丈夫？とても続けられないと感じた時どうする？といった疑問（全て私たちが感じてきた疑問です）から、家庭における父親と母親の役割、子どもの個性に合わせた育て方、そしてすでに子ども達に芽生え始めている良き実など、私たちが主から受けてきた様々な教えや溢れる恵みを皆様と分かち合わせていただければと思います。

■～つばめ便り～妻＆母編
「主よ私を変えてください！」

桐山　塁＆明日美

7 歳で受洗するも、ダブルスタンダードに苦しみ、遂に高校でドロップアウト。10 代の後半はひたすら暗闇の中、放蕩の限りを尽くしていたが、20 歳で劇的に主の元に戻され、同時に出会った主人と結婚。夢と希望に満ちあふれた結婚生活やホームスクーリング…のはずが、古い性質を持ったままの自分では、到底上手く行くはずもなく…(泣) 14 年間のホームスクーリングを通して、夫や子ども達と向き合い葛藤する中で、神様は徹底的に私の中にある罪や弱さ、傷や囚われなどを露にされ取り扱い続けて下さっています。時に、絶望し負のスパイラルにはまる事も、諦めそうになる事も多々ありますが、その度になりふり構わずひたすら主の名を叫び求める事によって「栄光から栄光へと、主と同じ姿に変えられて行きます。」という御言葉が自分の内に成就するのを体験しています！まだまだ発展途上、欠けだらけの私ではありますが、これからもホームスクーリングという炉の中で、自分が溶かされ変えられてゆける事を思うと嬉しくてたまりません！今回は白馬を病欠してしまった私の証を、夫の証言も交えてお伝えします。【ダメダメ主婦の管理術（お金、時間、整理整頓 etc)、夫婦＞子ども、霊的戦い、ひたすら主の前に…etc.】

■「ホームスクールの知恵とこつ
ー 10 年で学んだこと」　竿代　健

長男が 3 歳の時に主夫となり、ホームスクールに取り組み始め 11 年目になりました。10 年を振り返ってみて、成功や失敗も含め実践してきたこと、他のホームスクーラーとの交流から教えられたこと、子どもの成長や変化によって見えてきたことなど色々あります。ホームスクールを実践していく上での知恵やこつを項目ごとにまとめてみようと思います。項目ごとで、良きアイデアなど意見交流の場になれば理想と思います。項目は、多少変化するかもしれませんが、「学力」「教会」「ホームスクーラーとの交流」「経済」「学校」「体力」などを考えています。

■「チア・サポート・スクール (CSS) にご招待！」

稲葉寛夫・伊澤聡一郎＆恵美
（大阪会場は稲葉寛夫）

CSS の目的はチアの 3 つの強い目的（「魂の救い」、「キリストの弟子の心を与える」、「伝道・世界宣教」）へのサポートです。勉学はその目的への一つの手段です。学習支援にとどまらず、日々の歩みや進路設計ほか、年々、子どもたち・家族と CSS スタッフが共に考えていく「絆」が強まって

います。個人的な支援やフォローの場として、日本のホームスクーリングムーブメントにおいて、新しい機能を発揮しています。

具体的には、スケジュールチェックと個別カウンセリング、英語多読、ネイティブ教師指導の英作文、体系数学、面接＆小論文、受験対策などの取り組みが積み重ねられています。通学圏内の小中高生、全国の通信制（ファミラン）の小中高生の勉学のリズムを確立し、勉強の方法やわからないところを教えるサポート役として用いられ、良き成果が出ています。毎週のスケジュールを自分で組み立て、自分で立てたスケジュールを守る努力、その経験は将来役立ちます。勉学のサポートに加え、各家族の悩みの相談の場としても用いられています。CSS の詳細をお伝えしますので、どなたでも、お気軽においでください。

■「失われた神の栄光を取り戻せ！」

末宗　宣行＆百合子

イザヤ 40：31「主を待ち望む者は新しく力を得、鷲のように翼をかって上ることができる。」ただ救われて天国にさえ行ければよいという受け身の信仰生活ではなく、私たちは真実と偽りを見分け、鋭い視野をもって鷲のように羽ばたき、キリストの弟子として力強く歩むことが主の御心であると信じます。教会、親は、広い視野をもつ主の勇士を育てることのできる特権が委ねられています。これまでの経験を振り返ると共に、これから、どの領域で神の栄光を取り戻すことができるのかについて、スライド等を用いて分かち合います。

■「わが家はわが家、わが家なりのホームスクール」

竹橋　賢一＆祐子

だめだめでも出来た。だめだめでも大丈夫。だめだめだからこそ神の助けがあった。一人一人神が個性を与えられたように、ひと家族ひと家族それぞれ違うと気づかせてもらった。今年で 10 年目になります。子どもたちに励まされたり、励ましたり共に祈り、泣いたり笑ったり一緒に過ごす日々は、（振り返ればその時は困難を覚える事もあるけれど）結局はなかなか良いものだなと思わせてもらっています。

■「神様のご計画とタイミングは完璧です」

田丸　暁規＆明日香

妻がホームスクーリングの導きを受け、祈り始めたのは、約 8 年前。長女（現在 13 歳）が小学校へ入学する前の事でした。ノンクリスチャンだった夫は大反対。妻は「これはわが家への召しではなかった」と自分に言い聞かせて、子どもたちは公立の小学校へ通い始めました。ですが、神様はきちんとわが家にご計画を持っておられました。 3 年前に主人も救われ、コンベンションの参加をきっかけにホームスクーリングの道が開かれました。神様の憐れみで、現在ホームスクーリング 3 年目。失敗だらけのわが家の歩みと日々の取り組みをお話しします。

■「ステップアップするホームスクール Ⅳ」
大学入試の話

辻　寿＆奈央子

1 年生から 2 年間のチャーチスクール、その後 10 年間のホームスクールを経て、小学～高校過程の学習を終えた長女は今年大学進学へと導かれました。受験のサポートで成功したこと、失敗したこと、神様から語られたことを寿と奈央子で分かち合います。またホームスクールをしながらの受験の良かった点や大変だった点などを長女自身の証しも交えて分かち合いたいと願っています。

■「低年齢化する 10 代の性行動と親の任務」

辻岡　健象

神の形に創造され、神の栄光を現わす「いのちと性」が軽視され、性の秩序が完全に乱れてしまった時代に私たちが生きています。この大切ないのちと性のあり方、生き方を具体的に話し合い、学びたいと思います。

特に、現代の一般的な性教育と私たち性教育の違いを中心に、共に学び、共に話し合い、充実した時間を共に過ごし、解決策を求めていきたいと願っています。いのちと性に対する考え方や理解が多様化する中で、それでは如何に生きるべきか、

を共に話し合い学び解決策を求めていきたと思います。

彼は、父の心を子に向けさせ、子の心をその父に向けさせる。それは、わたしが来て、のろいでこの地を滅ぼさないためだ。（マラキ４：６）

■「子どもの個性に寄り添うホームスクーリング」
トゥール　ジェフリー＆文絵

5 人の子どもがいると、性格も 5 通りです。そんな子どもたちをどうやって一緒に教えていけばいいのでしょう？これはホームスクーリングのチャレンジであり、強みでもあります。子どもたち一人一人の特性（ディスレクシア、LD の子もいます）や、学習スタイルを探り、受け入れ、そして実践へと移していく中での葛藤や経験を分かちあいます。

“Flexible homeschooling for a range of personalities “

Five kids means 5 different personalities. How do you teach kids together who are so different? This is the challenge and also the advantage of homeschooling. We will share our own experiences of how we have struggled to identify, accept and finally come to work with our children's various personalities and learning styles, including dyslexia and Learning disabilities.

■「那須家のホームスクーリング 15 年で修了！？－旅立ちの春、盛夏に向けて」
那須　清志＆百合美

2004 年 4 月より始まったホームスクーリングも 15 年で修了です。長男（26 歳）は昨年よりビジネスマン、長女（24 歳）は看護師 4 年目、次女（22 歳）は今春からビジネスウーマン、次男（20 歳）は大学 2 回生、三女（18 歳）は今春から看護学生。というわけで、子どもたちはみな家を港にしつつ、訓練・学びの大海で航行中となりました。

15 年間、ホームという同じ環境で学びつつも、教会や社会との関わりの中で多くのことを教えられてきました。いよいよ本格的に主からのお取り扱いを受け、主にある成人を目指して進んでいってほしいと願うばかりです。今回も一人ぐらいは時間を捻出して参加し、レポートする予定です。誰が登場するかはお楽しみ…。

■「十人十色の大家族、
中島家のホームスクール～続編～」
中島　若樹＆啓子

大学 3 回生 (20)、新社会人 (18)、高 1 (16)、中 2(13)、小 5(10)、小 3(8)、幼児 2 人 (5 ＆ 3 歳) の 8 人の子どもたちをホームスクールで育て 14 年目。この 1 年、専門学校に通いながら美容業界で日曜日に休める就職先を探す困難な道のりを歩んだ長女。そのチャレンジと恵みを中心に、バラエティーに富んだ年齢層と個性豊かな子どもたちのホームスクーリングの様子を分かち合います。

■「『ウソ』を教えていませんか
ー口先だけの謝罪について」
ピーター・ブロックソム

「ごめんなさい。」特に小さい子どもにとって、このことばは親や先生との関係を円滑に保ち、ひいては日々の幸せを守るための潤滑剤です。クリスチャン家庭、またクリスチャン教育においても、なにか問題が起きたとき、私たちは子どもたちに「良い子」として口先だけで謝ることを強制してしまいがちです。しかし、神様の心を持った子どもとは、表面的な謝罪によって得られる利益に関わらず、自分の過ちについて心から納得した上でしか謝らない子どものことではないのでしょうか。みなさんと一緒に考えていきたいと思います。

Teaching our Children to Lie
– The Insincere Apology”

“I’ m sorry” is the magic phrase that can repair relationships, help one to avoid consequences, and set the world right again. As parents and teachers, we are almost “godlike”

to especially small children. We can make their day heavenly or make them wish they never got out of bed. It is greatly to their advantage that they keep on the right side of their parents for their well-being.

So, when there is an infraction, when the child does something wrong or something perceived to be wrong by the authorities, it is natural for the “unholy” child who is thinking of their own convenience to apologize, regardless of what he really feels inside. But the sensitive child, the child after God’ s heart, is the one that will not apologize unless they are convinced of their own trespass, regardless of personal gain or advantage that can be gained. And more often than not, Christian parents and Christian teachers are found at odds with the “holy” child, and try to pressure the child to utter the magic words, so that the world will be right again (at least superficially).

■「富士山にチャレンジ！」　　藤井　一朗

10 年連続登頂を目標に立て、今年で 8 回目の富士登山を前に、成功率を上げる為の登り方、必要な身体能力、トレーニング方法、装備などなどをお話しします。

■「若者をその行く道にふさわしく教育せよ」
～箴言 22：6～　　森山　剛 & 有佳子

長女の誕生と共に始めたホームスクーリングも 18 年目を迎えました。この数年は失敗とも思えることもあり、悔い改めながら主の導きを仰いで、子どもたちと様々な角度から将来に向けての取り組みをして来ています。今はまだその途中にありますが、ホームスクールの強い目的である " キリストの弟子となること” &" 伝道していくこと” からぶれることなく、また、その為にゆるされる『荒野での主の訓練』から学んでいることをお分かちさせていただきます。質疑応答の時間も取りたいと思います。

■「山川哲平・真紀子ファミリーのチャーチ＆ホームスクール」～従順教育の重要性と御言葉と祈りの生活～

山川　哲平 & 真紀子

現在、ハレルヤチャーチ高松では、5 家族合計 33 人（11 + 7 + 6 + 6 + 3）がチャーチ＆ホームスクール中（ほぼホームスクールベース）。また、それ以外にも、ご主人が未信者の家族もホームスクールマインドで教育をしています。現在、親と一緒に来ている子どもたちの信仰継承率は 100% です。また、名古屋の弟ファミリー（9 人家族）、妹ファミリー（7 人家族）もホームスクール中。義理の妹家族（8 人家族）も含めると一族でホームスクーラーです。13 年前にチアにっぽんに出会ってから、あっという間に時間が過ぎました。まだまだ試行錯誤しながらですが、教会もホームスクールも「祈り、御言葉、礼拝」が中心になってきました。様々なホームスクールの形があって良いと思いますが、私たち家族の証しや、どのようにホームスクールをしているか、特に「従順教育の重要性と、御言葉と祈りの生活によって、思春期の子どもたちの成長」を紹介します。「初代教会（ユダヤ人文化）から学ぶ家庭学習」なども。

大 阪 宿 泊 情 報

★大阪国際ユースホステル（会場内）

（4 月 30 日までに、チアにお申し込み下さい。[定員 24 名]。それ以降は各自でのご手配をお願い致します。）

【6 名 1 室：基本的に男女別（乳幼児は別）の相部屋ですが、6 名であれば、家族部屋をご用意できます。】

●宿泊費：1 泊 2,880 円、2 泊 5,760 円
（3 歳以下の添い寝の乳幼児は大人 1 名につき 1 人まで無料ですが、施設利用料として 300 円がかかります）

●食費：朝食 650 円、昼食 650 円、
夕食 1,080 円

※ 6 名未満での個室をご希望の場合、
個室料金がかかります。

東 京 宿 泊 情 報

★国立オリンピック記念青少年総合センター

（5 月 24 日までに、チアにお申し込み下さい。それ以降は各自でのご手配をお願い致します。）

【4 名 1 室：基本的に男女別の相部屋です
（乳幼児は別）】

●宿泊費：1 泊 3 食 3,510 円
2 泊 6 食 7,020 円

【シャワー付き個室】
●宿泊費：1 泊 3 食 5,210 円
2 泊 6 食 10,420 円

※年齢に限らず、ベッドを利用する場合は宿泊費がかかります。
※※添い寝の場合でも、レストランの規定で、3 歳以上は食券代（1,670 円）が必要です。

OB/OG・ユース対象 特別セミナー

「社会性のワナ」著書のリック・ボイヤー氏らによる特別セミナー！

「ネット・ライン・ゲーム依存からの解放 －争わずにメディアタイムを減らすには」

この何十年間で、親たちはテレビを見すぎることの害について知ってきたことでしょう。そしてさらにインターネットが入り、その危険性はさらに上昇しました。どのように、ネット・ライン・ゲーム依存から、現実の冒険的な生活に、あなたやあなたの家族の軸を変えることができるでしょうか？ここに力強い聖書的な解決策と、それを適用するたくさんの実用的な方法があります。

自主企画、自由研究・工作展示も OK

スペースに限りあり！お申込は、お早めに！

★これまでの【自主企画】の歩み★

＜白馬セミナー 2016 ＞
★金喜望　シフォンケーキ　★セイヤー　フィリピンの宣教企画　★棚田伊作　消しゴムスタンプ　★稲葉ジョセフ　ジョセフクッキー

＜コンベンション 2017 ＞
★藤本道子　英語での創作絵本　★辻創　絵本翻訳　★稲葉ジョセフ＆伊澤キッズ　子どもカフェ　★乾ファミリー　みことばブレスレット　★金喜望　シフォンケーキ　★奈良珠光　賜物 SHOP（アクセサリー）

＜白馬セミナー 2017 ＞
★稲葉ジョセフ＆伊澤キッズ＆高橋聖一郎　子どもカフェ　★棚田ファミリー　消しゴムスタンプ他　★鶴巻愛実　ミサンガ　★セイヤーファミリー　フィリピンの宣教企画　★森山ファミリー　貝殻製作・カホン　★塚本頼基・遥都　クッキー　★清野いくる　工作　★豊田雪恵　アクセサリー　★ボゼックエレイナ　オーナメント

➡お早目に、チア事務局までお申し込みください！

早期申込特典プレゼント！

5月7日までに**お申し込み＆ご入金**いただいた大人の方に、「聖書 10」「聖書 11」「りか 1」「マガジン 10 冊無料券」「ちょっぴりホームスクーリング考えてます？」「神の知恵と親の情熱」「夫婦のきずなを強めるために」「日英副読本（ヤムイモのもんだい・脱出・毛皮と約束・エイミーの台湾日記のどれか）」「DVD 聖書」の中から、いずれか１つを、もれなくプレゼント！

＊券２枚で上記の教師用ガイドもOK！

第９回　チア・にっぽん杯
絵画コンクール

＜応募要項＞

■テーマ：聖書のストーリーから題材を取り、自分のイメージを絵画にしてください。
■部　門：（１）幼稚園の部　（２）小学生の部
（３）中高生の部　（４）一般の部
■サイズ：自由
■応募方法:必ず作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、学年、年齢、性別、電話番号、Ｅメール、絵のタイトル、その絵を描いた理由（100 文字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送り下さい。

コンベンション会場で表彰式が行われます！作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！

第７回
聖句書道 掛け軸展

＜応募要項＞

■テーマ：聖書からのテーマをもとに、内容は自由。
■対　象：どなたでも
■サイズ：八つ切りサイズ

■応募方法：作品に名前を書き、掛け軸に貼った状態でお送り下さい。

第３回　チア・にっぽん杯
写真コンテスト

＜応募要項＞

■テーマ：被写体から見えてくる聖書のストーリー。素材は自由（自然、動物、人物ほか）

■部　門：（１）９歳以下　（２）１０－１２歳
（３）１３－１５歳（４）１６－１８歳
（５）１９歳以上

■サイズ：Ａ４サイズ以上 / 額入れ OK です！

2017 準チア・にっぽん最優秀作品賞「翔べ！」　森山陽介

■応募方法:必ず作品の裏に、氏名（フリガナ）、住所、年齢、性別、電話番号、Ｅメール、写真のタイトル、その写真から見えてくる聖書のストーリー（100 字以内）、着払い返却希望の有無を書いて、お送りください。また、可能であればメール（office@cheajapan.com）に写真データ（１MB 以上）をお送りください。

コンベンション会場で表彰式が行われます！
作品はコンベンション、キャンプ、白馬セミナーの会場で展示されます！

■応募締切：2018 年 5 月 21 日（月）■送付先：東京都東村山市栄町 1-5-4-103 チア・にっぽん事務局

★ LIT ★
（リーダーズ・イン・トレーニング）

LIT ではキリストの弟子として子どもたちを助けていく訓練を受けます。新しい出会い、喜びに満ちた楽しいプログラム！こぞってご参加ください。
（14 歳以上、13 歳もウェイティングＯＫ！各会場 24 名限定、申し込み順となっていますのでお早目にお申込みください。）

＊希望者は事務局まで。

★動物解剖実験★
大阪限定！

体の中の不思議を知ろう！

日時：2018 年 6 月 1 日（金）午後
分科会 1 のチルミニの時間帯に
子どもたち向けで開催！

昨年、大変好評だった「小鹿の解剖実験」。今年も NPO 大阪自然史センターより米澤里美講師をお迎えします。実際に実験に立ち会えることは、貴重な学習体験と思います。献体された動物の体の解剖実験を通して、動物や私たち人間を精巧に造られた神様の素晴らしさを体験しよう！

東 京 路 傍 伝 道

with 伊勢崎／チア・にっぽん

6 年前から、伊勢崎のチャーチ＆ホームスクーラーたちのリーダーシップで進められてきた「東京伝道」チーム。これまで約 130 万世帯を終え、現在北区を終了するところです。滅びゆく日本の魂のために、宅配トラクト＆聖句プラカード伝道に参加してみませんか。どなたでも大歓迎です。1 時間でも参加できる方は、ぜひ、どうぞ！（事前に、ご連絡ください。）

前回の狭山伝道

伝道は主に従う喜び、そこに神様からの恵みと祝福があり、クリスチャンの成長があります

★狭山伝道
10:00 狭山市駅東口（西武新宿線）
4/21・5/26・6/23（土）

★長野県飯山市伝道
11:00 飯山駅（JR 飯山線、長野新幹線飯山駅）7/16（月）海の日

★群馬県草津町・吾妻伝道
11:00 長野原駅（吾妻線）
8/6（月）・7（火）・8（水）

★東京伝道
10:00 上野不忍池野外ステージ
9/24（月）秋分の日

※飯山市、草津町・吾妻伝道は前日に伊勢崎キリスト福音館に宿泊可。
※事前連絡必要。

★連絡先：090-6147-2428（森下）
080-5682-9726（田村）
http://www.isesaki-fukuin.com

伊勢崎福音館の QR コードをぜひ、ご登録ください。

♪白馬セミナーアンケート Part 2 ♪

11 月 23 ～ 25 日行いました白馬セミナー、参加者の声第二弾をお届けします！

＊＊＊＊＊＊大人＊＊＊＊＊＊

●毎年思うのですが、今年の白馬の恵みは今までで一番だと感じています！帰ってからも、祝福と恵みがまだ押し寄せてくる感じで、終わらない恵みを感じています。祝福の流れが家庭まで流れてきているようで、日々の生活の中で、白馬で聴いたことをもう一度教えられたり、メッセージの深みを新たに受け取ったり、聖霊によって教えられ続けています。本当に感謝です＾＾そして、この喜びを奪おうとするかのように、敵も忙しく働いているのを感じます。稲葉さん、またスタッフのお一人お一人も、全力で仕えてくださって本当にありがとうございました！お疲れだと思いますから、しばらくゆっくり休んでくださいね。風邪やインフルが流行っているようなので、くれぐれもお気を付けてお過ごしください。

（長野　Ａさん）

●最高でした。天候にも恵まれ、金曜日に雪は降ったものの交通への被害は無く良かったと思います。今回が私たち家族の４回目の参加でした。以前会った人に改めてお会いできたり、新しくお会い出来たりすることは大変嬉しく思います。ホテルを私たちで貸し切れることは私たちに安心感を与えてくれます。

毎年、私には行くか行かないか、葛藤のようなものが生まれます。セミナーはどれも貴重で、集中することが多く時に疲れも感じます。金曜日の夜に行われたお父さんの会に行きたかったのですが、あまりに疲れて寝てしまいました。ビュッフェは毎回のように美

味しくいただきました。一緒にお話しした方が、チアの子どもたちの行儀の良さを話していました。

グレッグハリスさんの一つを除いて全ての話を聞きました。「低い期待」という言葉に私は興味を持ちました。私たち親は子どもたちに小さいことを望むのではなく、素晴らしい行動ができる存在だと期待して見るべきである。私は息子にある学習障害のせいで低い期待をしていました。彼が社会的に弱いのは確かです。学習障害がある一方で、今はどのようにして彼に大きな期待を作り上げるかを考えています。

もう一つ、興味を持った話は「子どもたちの分野でソロモンを見つけ出す」です。これは子どもだけでなく大人にもよいことだと思いました。

カーレースはとても楽しかったです。父親の方が子どもたちよりも熱狂していたように思えます。私の息子は初戦わずか 30 秒で負けてしまいました。負けて悔しがっていましたが、去年よりは息子の成長を感じています。

金曜日の自由時間では仮眠を本当は取りたかったのですが、2 時間半も雪で遊んでしまいました。他のお父さん方とも話したかったのですが、時間が足りませんでした。来年も楽しみにしています。

（北海道　B さん）

●白馬セミナーのことを知って 10 年めの初参加。この 10 年間にどれ程の人々がここに集い、どんなに多くの両親・ボランティアスタッフが労して場を盛り上げてきたのだろうと思いました。その見えない断片が、年齢様々な子どもたちの表情、言葉の隅に現れていた様に思います。これからがさらに楽しみです。ジョセフくんの歌が伴奏と共に耳に残りました。基調講演・分科会は近い距離で色々お話しを伺えよかったです。

（埼玉　C さん）

＊＊＊＊＊子ども＊＊＊＊＊＊

○カーレースが楽しかったです。自分も出てわくわく面白いです。雪遊びでかまくらを作ったり、そりすべりをしたりしてお友だちと一緒にご飯を食べたりもしました。表彰式にはプレゼントをもらえてうれしかったです。ブレスレットを売って、もうかったのでうれしかったです。来年はお友だちと一緒にお店を開きたいです。また、カーレースにいどみたいです。勝つためにがんばりたいです。作曲もしてみたいです。

（北海道　8 歳　C さん）

○すごく楽しかったです。特に今年は雪も降っていたので、ソリ遊びの時の誘導が楽しかったです。来年も今年同様、LIT や他の奉仕もできればなと思います。

（東京　16 歳　D くん）

○朝、みんなで一緒に賛美している時間が特によかった。みんなが心を一つにしている感じがとても心に残った。そり遊びがとてもよかった。いつか LIT をしたい。

（埼玉　12 歳　E くん）

☆ホームスクーラー伝道レポート☆

ホームスクーラーたちがタイや韓国、南アジアに出て行き伝道体験をしています！感想をご紹介致します！

【市川喜也くん】

僕は、韓国に６か月、南アジアに１か月半行ってきました。まず、韓国では、紙芝居を使った伝道に参加させていただきました。僕にできるのかと、初めは心配でした。けれども、今は少し緊張しながらもしっかりと話せ、伝道できるようになりました。韓国の人も色々な反応をしながらよく聞いて下さるので、むしろやっていて楽しいです。韓国の環境にも、現地の伝道者たちやそのご家族が親しみを込めて迎えてくださったので、すぐに慣れました。

南アジアでは、大都市や地方での活動はもちろん、ある日は、観光にも何度か連れて行っていただきました。やはり、日本とは環境がかなり異なりましたが、体調を崩すことなく、毎日元気に過ごせました。またほぼ毎日、現地の伝道者たちのお話を聞くことができたのも良かったです。

この伝道旅行の前に、稲葉さんが「お客さんを迎えてもてなすことは大変なこと。だから当たり前のことだと思わないで、感謝の心を胸に刻んでいくように。」と教えて下さいました。確かに、人を迎えることは大変なことだと思います。僕も迎えてくださった方々にいろいろと面倒もかけました。それでも僕を歓迎して下さった韓国と、南アジアの方々に感謝します。僕もこの国々で出会えた伝道者たちのように、神様のために一生を使いたいです。

『すべて、多く与えられた者は多く求められ、多く任されたものは多く要求されます。』ルカ１２：４８。

【喜也くんの母、市川晶子さん】

主の御名を讃えます。長男が海外訓練という恵みに預かり、感謝でいっぱいです。息子が CSS で学習サポートを受け始め、しばらくして世界の国を調べるという課題が出されるようになりました。実際に海外に行くことができたら、さらに良い勉強になると思い、3年ほど前にタイへ家族で行かせていただきました。その時はサムエルさんとタイの皆様に大変お世話になりました。

引き続き勉強に励んでいましたが、なぜ勉強しているのか分からなくなると漏らすときもありました。我が家は一人親で、働きながらのホームスクールでしたので、家事は子どもたちが分担してくれていましたが、２年ほど前から息子は私が楽になるようにと朝早くから頑張って家事をしておりました。その姿を見て、もう母に仕えなくていい、他の人に仕えて主の役に立てればと思っていました。こう書くととても良い子のようですが、嫌いな家事は弟に押し付けるなど、ずるい所もあります。（主に示され悔い改めたようですが。）

そのような中で今回、海外訓練の機会が与えられました。韓国では、福音の紙芝居をトレーニングしていただき、実際に田舎の家々を回って伝道できたことがとても良かったようで、何か自信をつけたようでした。南アジアの旅は主からのプレゼントと思っています。本人も行くことをとても楽しみにしていました。現地の皆様との良い交流が沢山与えられ、何より神様を熱心に愛し、神様に喜ばれることをしたいと願っている皆様が迎えてくださったので、違う環境にも慣れ、守られて元気に過ごすことができたと思っています。

日本にいる私たち家族も、また所属教会も息子とチームの皆様のために祈れることが恵みでした。現地でケアと訓練をして下さったお一人お一人に心から感謝します。また、稲葉さんと丸森の皆様、また祈りで支えてくださった多くの方々に心から感謝します。成長させてくださる神様に感謝し、主にすべての栄光がありますように。

【片岡結実さん】

韓国での伝道生活の様子を報告したいと思います。

今私は海が凄く綺麗な A という場所で伝道しています。拠点地 B 市から車で 5 時間と遠いので、2 週間に 1 回、週末を B 市で過ごし、月曜日から A に向かうという生活です。A では、牧師さんが開放してくださっている教会で約 20 人の伝道者たちと寝泊まりしています。

6 時前に起床、6 時から 7 時前まで女の子たちと一緒にバイブルタイム、7 時から 7 時半位まで朝食 & 聖書、7 時半から 8 時半前まで自由時間、8 時半から 11 時半頃まで午前中の伝道で、一旦家に戻ってから昼食 & 昼寝、1 時から 4 時頃まで午後の伝道です。私の場合、月・水・金は午前の伝道だけ出て、午後からは韓国語の勉強 & 高校の勉強をしています。言語は共通語の英語なのですが、まだまだ話したい事が英語で言えなくて、悔しいというかもどかしい気持ちがあるので、言語の勉強を頑張っています。韓国語は文法が日本語と一緒なので、勉強が楽しいです。

伝道は徒歩で一軒ずつ回って、紙芝居伝道をしています。時々家に入らせてくれる人がいるので、その時は中でゆっくり福音を伝えます。最初外国語の紙芝居を覚え始めた時は正直大変でしたが、覚え終わっていざ福音を伝えてみたら、大変さとか忘れて「感動」しかありませんでした。ある時「わざわざ伝道のために日本から来てくれて有難う」と言ってくれたお婆ちゃんや、最初は福音に対して反感を示したおばさんに紙芝居を伝えたら徐々に心を開いて、最後には涙を流しながら「神様のこと、信じるよ」と言ってくれたりと、聖書の言葉が持つ力を実感しました。また、ある家を訪れた時、とにかく大きい猛犬 2 匹が家の前の細い道の両側に鎖で繋がれていていました。家に向かったら案の定吠え出し、鎖が切れそうな勢いでした。ポストに入れて早く行こう！と、ビクビクしながらもポストに向かっていたら「ブチッ」と音がして、鎖がちぎれ、2 匹がこっちを睨みながら向かって来た時は、一瞬脳内で「死」という言葉が浮かびました。その時一緒に歩いていた現地の女の人がリュックで格闘してくださり、私は後ろで隠れていました。そんなことがある中、守られながら伝道が出来ていて凄く感謝だなと思いました。

まさか自分が韓国で伝道する事になるとは思っていませんでしたが、とても貴重な時間を過ごせています。また共同生活を通して、もっと祈ること、人ではなく神様を恐れること、へり下って素直になるよう、聖書を通して神様から何回も教えられました。こういう機会を与えてくれた神様と家族に感謝し、また私を受け入れ、助けてくれている伝道者に感謝しています。

【鄭宝宴さん】

私は昨年の 11 月 30 日から今年の 1 月 31 日にかけてタイで宣教をしてきました。同い年の友達と一緒に飛行機に乗ってタイに着きました。着いて三日目からタイ語で紙芝居を覚え始めました。最初の一週間は発音の聞き取りでした。タイには音調が五つあると言われていて、さらに短い音や長い音も区別するので覚えるのが大変でした。

私がタイに宣教に来る前、冗談半分に” 私がタイで一週間以内に泣くかも ?! “と言っていたのですが本当に四日目、発音が聞き取れず、ホームシックにもなって泣いてしまいました(笑)しかし、そこで宣教しておられる方々の話や証を通して乗り越えることができました。二週間目は慣れてきて韓国語でふった送り仮名を一人で読めるようになりました。

三週目、ついにサムエルさんにも OK をもらい、自分専用の紙芝居をもらいました。とても嬉しかったです。そして 12 月最後の週はサムエルさんたちと一緒にバンコク伝道に行くことができました。日本ではまだ聖句のプラカードを持ったことがなかったので初めて持ちました。初日は 1 時間半で足が疲れて座りたかったのですが最後の方では慣れて休みなしで 2 時間や 2 時間半立てるようになりました。新年にはガールズで年越しそばやおしるこを食べました。

1 月 3 日に田舎のブリランというところへ移動しました。そして次の日から学校伝道を始めました。朝の朝礼で紙芝居を持つ係をしました。ただ立っているだけなのに冷や汗が出てとても緊張しましたが祈りながら次の学校で中学 3 年生の子どもたちに初めて紙芝居をしました。子供たちは純粋で中 3 でも私

の下手なタイ語をよく聞いてくれました。ある子は私が紙芝居を終えると笑顔で挨拶や質問をしてくれて私のタイ語が通じているんだな～と励ましにもなりました。仲間の方たちも私が無理したりしないように気遣ってくださったり、通訳をしてくださって本当に感謝でした。クリスチャンの知り合いも増え、外国で福音を伝えることができ、神様との関係も強くなったと思います。手伝ってくださった方々に感謝します。すべての栄光を神様にお捧げします。

【鄭宝宴さんの母、朴基甫さん】

我が家の長女（15 歳）に昨年 11 月 30 日から 2 か月間タイでの伝道の道が開かれました。親としては大学に入る前に神様との信仰をもっとはっきりしてほしいとの願いと外国語に触れる機会になると思っていました。実際に 2 か月間充実に伝道を終え成長して来たと思います。

日本に帰ってくる一週間前でしょうか？ LINE が繋がりほとんど毎日連絡をしていましたが、タイでもっと伝道したいということやまたタイへ来て 1 年くらい伝道したいということ、将来についていろいろ考えた話や特に神様の仕事に対しての思いなど、日本にいた時はじっくりと考えたことのない自分の道を少しずつ神様との関係から自ら考えるようになった話を聞きました。親として嬉しい思いでした。

ここで、本当に感謝したいことは丸森伝道チームの仕える心や親心で子どもたちを訓練してくださったことです。いつもチアコンベンションや白馬セミナーでなじんでおり、子どもたちに対する献身を知ってはいましたが、本当に子どもたち一人ひとりに対する献身や愛を持った養育に感動しました。

今、娘が考えている道も祈りながら神様の中で進んでいけばと思います。2 月 22 日からは韓国で 3 か月間の伝道に参加します。そこでまた新しいチャレンジや成長があることを期待し、この機会を与えてくださった神様に感謝をささげます。

♪ボイス＆メール♫ Voice & Mail

●いつもお働きを感謝致します。白馬セミナーに行けず残念でした。コンベンションを楽しみにしています。（埼玉　Ａさん）

●ジョセフくん、大怪我にならず本当によかったです。子どもはイエス様から預かっている大切な命という言葉に涙しました。（北海道　Ｂさん）

●この４月からイギリスのニューカッスルに転勤することになりました。家族は５月初めに移動する予定です。赴任期間はおそらく３-４年になると思います。イギリスでもホームスクーリングは続けるつもりです。どこにいても家族としてやるべきことは同じ、主から与えられるものを感謝して受けていきたいと願っています。

スロヴァキアから帰国後、家族の在り方に悩んでいた私たちに、光を投げかけてくれたのはチアの働きでした。大きな犠牲を払って全力でホームスクールをサポートしてくださる稲葉さんはじめスタッフの皆様に心から感謝致します。舞台を日本からイギリスへ移して行って参ります！（東京　Ｃさん）

●長女が無事、大学入試に合格しました。横浜市立大学に新しく新設されるデータサイエンス学科です。AO 入試です。２次のプレゼンと面接では自分の信仰、ホームスクーリングのことなども語れたようです。「自分がクリスチャンというアイデンティティーを受け入れてくれないような大学は行かない」と毅然とした態度で臨んでいたようでした。マーケティングや発達障害にも興味があり、広く頑張っていきたいようです。（神奈川　Ｄさん）

映画試写会「アメイジング・グレイス」を行った皆さんから感想が届いています♪

■「アメイジング・グレイス」
（1 月 27 日：太平洋放送協会主催映画会）

・制度の改革とは本当に困難なものであることがよく表現されておりました。どんなに困難なことであっても「神がともにいませば」何事も解決され御心が表されることが良く分かりました。（80 代　男性）

・私自身置かれている現状の中で小さなことから始めることがあるのでは…と思わされました。（70 代　女性）

・神様の御心がなされるのは、私たち人間を通して。しかしその道は険しい。あまりにも険しくやめたいと思っても周りの人に押し出されてまた前に進む姿に感動しました。（50 代　女性）

・神様がなさろうと計画されたことは、小さい所から大きなうねりをもたらし、成し遂げられる。苦しみの中にも希望を与えて下さることを再び教えて頂き、勇気をもらいました。
　また、神様の時間は私の考えている時間の長さとは全く違うことも再度考えさせられました。（70 代　女性）

・信仰を持ち続けることが志の実りにつながると確信しました。（70 代　女性）

・神に従って生きるか、政治に生きるかの選択に悩む時、両方の道が示された主人公を理解する協力者が次々に現れ、主の御心実現に向けての歩みが進められる。協力者の一人ひとりが主に用いられたのがよかったです。（60 代　男性）

・特に感じたのが、自分がまず変わる必要があること。そして、全て正だけではなく負もあるということ。劇中でも体調を崩したり、大きな物語だけではなく、個人個人でも色んなものを犠牲にして、大きな偉業がなされたのだと感じました。（30 代　男性）

・奴隷制という人を人とも思わぬ制度をクリスチャンの多い国で行われていたと思うと、信仰を正しく持っていたいと思いました。（30 代　女性）

・知恵も信念も努力も神様は全ての人に与えて下さっていると思いますが、それを受け取ることができる者は神様を信頼し、信じることのできる人だと思いました。信じられる人間に変革してくださるのは聖霊の働きによると思いました。（70代　男性）

「ファイアーストーム」「フェイシング・ザ・ジャイアント」「アメイジング・グレイス」の無料試写会＆DVD販売会（小人数OK）をしてみませんか？大好評受付中です！

　上記 3 作品に関しては、チア・にっぽんが正式な窓口となって、ソニー・ピクチャーズ社に申請する道が開かれています。まずは資料をご請求ください。既に実施済みの教会、団体からは多くの感動と祝福のレポートが多数寄せられています。詳細・問い合わせはチア・にっぽんまで。

【Email:office@cheajapan.com　FAX:03-6862-8648　TEL:042-318-1807】

□試写会案内、申込書の送付希望。	
氏名：	Email:
住所：	電話番号：
備考：	

■ 励ましとチャレンジセミナー in 白馬 2017 講演・分科会CD ■

オーダーシート　FAX 03-6862-8648 （郵送可）

No.	タイトル	講師	税込価格	数	金額
1	【基調講演1】「なぜ、困難なことに立ち向かう子どもたちを育てるのか？」	グレッグ・ハリス	¥540		
2	【基調講演2】「キリストの弟子としての子どもの教育」みことばに照らしてともに考えましょう	テモテ・ブローマン	¥540		
3	【基調講演3】「良い木 Vs 悪い木」	グレッグ・ハリス	¥540		
4	【基調講演4】「新・出エジプト大作戦ーキリストにある自由＆未来からのスタート」	稲葉　寛夫	¥540		
5	【ワークショップ】「子どもを祝福するとは」	ジョイス＆リチャード・イノウエ	¥540		
6	【OB/OG&YOUTHセッション】高嶺を目指して「インテグリティ・誠実さと強固な倫理観を養うために」	グレッグ・ハリス	¥540		
7	「あなたが子どもたちを楽しむようになるまで訓練する」	グレッグ・ハリス	¥540		
8	「子どもたちを巻き込む価値のある冒険に満ちた人生を送る」	グレッグ・ハリス	¥540		
9	「子どもたちの退屈を楽しいことに活用する」	グレッグ・ハリス	¥540		
10	「子どもたちの分野においてソロモンを見つけ出す」	グレッグ・ハリス	¥540		
11	「子どもたちに、もっと多く、より良いものを期待する」	グレッグ・ハリス	¥540		
12	「時間やエネルギーが無い時でも、子どもたちを祝福し続けるために」	ジョイス・イノウエ	¥540		
13	「学習障害やADHD、自閉症に関連する感覚処理障害、前庭疾患、固有感覚障害、運動障害とは？」	ジョイス・イノウエ	¥540		
14	「障害のある子どもたちと信仰的な会話、弟子訓練はできるか」	ジョイス・イノウエ	¥540		
15	「不安障害とADHDや自閉症、学習障害との関連性を認識し、ホームスクーリングを通して癒しをもたらす方法」	ジョイス・イノウエ	¥540		
16	「ADHD、学習障害の最新の研究結果を、ホームスクーリングに生かす方法」	ジョイス・イノウエ	¥540		
17	「親と子どもの心の絆」	マタイ・ブローマン	¥540		
18	「私の思いは、あなたがたの思いと異なり」～ホームスクール11年目～	川嶋　康裕＆しのぶ	¥540		
19	「誘惑から解放されるために－父が息子と共に学べることー」	棚田　伊作＆加代子	¥540		
20	「どんな職場でも神の国の視点を保ち続けるために」	リチャード・イノウエ	¥540		
21	「チャーチ＆ホームスクーリング　ー必ず聞かれる20の質問」	稲葉　寛夫	¥540		
22	「山川哲平ファミリーのチャーチ＆ホームスクール」（12年目）～初代教会から学ぶホームスクール～	山川　哲平＆真紀子	¥540		
23	「良い関係」	清野　基＆百合子	¥540		
24	「十字架を目指して、低きに登る」	鍵谷　陽子	¥540		
25	「自分の目標を捨て、願いを神にゆだねる」	ジャネット・マクタガート	¥540		
26	「神を愛するということ」	ピーター・ブロックソム	¥540		
27	「えっ！いつまでやったらいいの？ ホームスクーリング！」	森山　剛＆有佳子	¥540		
28	「次世代に伝えるべき命と性」	伊藤　こずえ	¥540		
29	「ホームスクールにも全ての進路が開かれています」	中村　昌代	¥540		
30	「第二言語として英語を習得するために」	テモテ・ブローマン	¥540		
31	「岩の上に家を建てる」	ギンター・マイケル＆千為子	¥540		
32	CSS「ホームスクーリングは神様からの最強・最新の教育法！改革500日めのワクワクレポート！」	稲葉・堀井・伊澤夫妻	¥540		
33	「親も問われるホームスクール」～主に従う確信、みことばの訓練～	山川　高平＆久子	¥540		
34	「虹って何色か知ってますか？」	衣笠　健三＆葉子	¥540		
35	「神が用いる母」	ジャネット・マクタガート	¥540		
36	「家族でできる文書配布伝道」	田村　正幸	¥540		
37	「ホームスクール、次のステージに」	堀井　卓＆ユリ	¥540		
38	「桐山家のホームスクール近況アップデート＆13年のホームスクールを通して最近特に教えられている事」	桐山　塁＆明日美	¥540		
39	「大事なことは何か？ 正しい選択はいつも聖書にあった！」	南雲　信幸＆恵理子	¥540		
40	**＊2017白馬セミナー全講演入りDVD（音声のみ・mp3版）**		¥6,800		

＊ 別途、送料（実費）がかかります。代金は商品に同封する郵便振替用紙にて、お振込みください。
＊ CD－Rはプレイヤーとの互換性などの理由で一部再生できない場合がありますのでご了承ください。
＊ 10%のチア会員価格の対象ではありませんので、ご了承ください。

小計	
合計金額	

チア・にっぽん事務局　〒189-0013　東京都東村山市栄町1-5-4-103　TEL: 042-318-1807

フリガナ		フリガナ	
お名前		教会名　または　学校名	
フリガナ		電話番号	
ご住所			

チア・にっぽん カレンダー

●コンベンション 2018
大阪　6 月 1 日（金）・2 日（土）
◇大阪府羽衣青少年センター
東京　6 月 8 日（金）・9 日（土）
◇オリンピック記念青少年総合センター
●サマーキャンプ　8 月 13 日（月）～ 15 日（水）
（LIT は 10 日～）
◇仙台明泉学園
●オリンピック　10 月下旬
◇府中市民陸上競技場
●わくわく集中勉強合宿 /
ジョイスイミング　秋
◇オリンピック記念青少年総合センター

発達障害の治療の試み

柏崎良子 / 柏崎久雄 著・A5 判・307P
定価：本体 2,000 円＋税

柏崎良子医師のマリヤ・クリニックにおける治療を、
症例、検査の意味と意義、治療法、
発達障害になる原因分析、
治療の手順など詳細に記載しています。

＜本の内容＞
序文. 発達障害や精神障害の治療を願って
Ⅰ. 発達障害から良くなった子供たち
Ⅱ. どのように治療をするのか
　A. 治療の枠組みと方法
　B. 発達障害についての私たちの立場
　C. 発達障害の治療への取り組み
　D. 治療方法の説明
Ⅲ. 治療に必要な知識や理論
　A. 身体の形成と栄養の補給
　B. 障害への対応の基礎知識
Ⅳ. 統計、よくある質問、索引
　A. 発達障害検査統計
　B. よくある質問

株式会社ヨーゼフ　ご注文は TEL/FAX、アマゾンでの購入も可能です
http://yozeph.com/ TEL 043-207-6035 FAX 043-207-6036

【1 月会計】

収入	
献金	1,611,000
書籍・教科書	413,261
会費	15,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	29,038
その他	705,151
	2,803,450
支出	
事務局経費	2,419,459
通信運搬費	53,343
交通費	127,070
印刷費	60,171
DVD ＆商品仕入費	122,926
	2,782,969
残高	20,481
前期繰越	-19,400
翌期繰越	1,081

【2 月会計】

収入	
献金	1,504,200
書籍・教科書	62,812
会費	62,000
広告	30,000
DVD/CD、ビデオ等	56,295
その他	21,744
	1,737,051
支出	
事務局経費	1,574,035
通信運搬費	91,101
交通費	155,634
DVD ＆商品仕入費	3,496
	1,824,266
残高	-87,215
前期繰越	1,081
翌期繰越	-86,134

☆尊い献金、会費の送金を、
心から感謝いたします。

CheaJapan
チア・にっぽん事務局
〒 189－0013　東京都東村山市栄町 1-5-4-103
TEL 042-318-1807　メール対応 FAX 03-6862-8648
メール　office@cheajapan.com